

第30回 日本がん看護学会学術集会 ガイドライン委員会 シンポジウム

テーマ：チームで取り組むがん薬物療法における曝露対策～ガイドライン発刊後半年の現状と課題～

日程：平成28年2月20日（土）15:20-17:20 会期 1日目

主催：日本がん看護学会 ガイドライン委員会 研修会

会場：学術集会第8会場/9会場 中継（ホテルニューオータニ幕張）

〒261-0023 千葉県美浜区中瀬2-1 TEL:043-296-0001(代)

受付・開場：15:10～15:20

企画意図：今年7月、日本がん看護学会・日本臨床腫瘍学会・日本臨床腫瘍薬学会の協働により「がん薬物療法における曝露対策合同ガイドライン」が発刊された。曝露対策への取り組みが遅れていた日本において、本ガイドラインの発刊は画期的なことであり、今後は各組織でガイドラインに基づく指針やマニュアルの作成、実践の定着が課題となる。

本ガイドラインを発刊してから半年が経過した。出版されたガイドラインはすでに3刷となり、関連部門での関心の高さがうかがえる。本シンポジウムでは、ガイドラインを作成した委員会として、臨床活用へ期待することを述べる。そして実践現場で推進役になっている看護師と薬剤師の立場から現状と課題について、さらに、労働安全を推進していく立場からの課題など、それぞれの立場から講演していただく。さらに、質疑応答や討議を通じて、臨床に即しチームでどのようにがん薬物療法における曝露対策を進めていくことができるかについて、ヒントを得るシンポジウムにしたいと考える。

シンポジウム 15:20-17:20

司会：神田 清子（群馬大学大学院保健学研究科 教授 ガイドライン委員長）  
飯野 京子（国立看護大学校 教授 ガイドライン副委員長）

15:20

開会の挨拶

15:25～17:15

「チームで取り組むがん薬物療法における曝露対策～現状と課題～」

ガイドライン作成の立場から臨床活用へ期待すること 平井和恵  
ガイドライン委員 東京医科大学医学部看護学科 教授

実践現場での認定看護師としての新たな取り組みと課題 大路貴子

神戸市立医療センター西市民病院 がん化学療法看護認定看護師

実践現場での認定薬剤師としての新たな取り組みと課題 間宮伸幸

東京都済生会中央病院 がん薬物療法認定薬剤師

労働安全衛生における曝露対策の課題 甲田 茂樹

（独）労働安全衛生総合研究所 研究企画調整部

有害性評価研究グループ主席研究員

発表後討論

17:15～20

まとめ